



木の郷ぎふの家 御嵩建築 の住まい創り新聞

Vol.37

今回のテーマ
現場レポート・衣替えについて



雨楽な家 笑家族SK-28
リビング

現場レポート

◎I様邸 新築工事

まず、一枚目の断熱材(@100)を充填しました。
この下にまた断熱材(@100)を二枚敷きます。
合計三重の断熱材となります。
外部の塗装工事に入ります。
その木、どこの木？(木材利用ポイント申請中)
模型が完成しました。イメージが湧きますね。



◎D様邸 新築工事

基礎が完成。
晴天に恵まれて、建て方が始まりました。しあわせ家族ですね。



◎SY様邸 新築工事

ショールーム見学。水周りの機能体験と色決めに来ました。
工事に入る前に、既設のCB塀の解体工事をします。



【当社ホームページより抜粋。詳しくは **ぎふの家** 検索！】

Topics

「構造見学会」開催のご案内

日時 10月6日(日) 10:00~17:00

場所 可児市桜ヶ丘(西友桜ヶ丘店、桜ヶ丘郵便局近く)

同時開催 「木の家なんでも相談会」 10:00~16:30

新築・リフォームのことはもちろん、水まわりや耐震、室内犬と快適に暮らせる住まいまで。お気軽にご相談ください。

※ しっくい塗り体験・カンナ削り体験も開催します。皆様のご来場をお待ちしております。

また、先日土岐で開催されました「クリナップ リフォームフェア」には、多くのご来場をいただきまして誠にありがとうございます。

衣替えについて

中国の風習にならい、平安時代の宮中行事として始まった衣替え。旧暦の4月1日および10月1日に夏服と冬服を着替えることが定められ、宮中ではこれを「更衣(こうい)」と呼んでいました。

江戸時代になると年に4回、武家の制服を替える習慣が制度化され、一般庶民もこれに従うように。現在のように学校や官公庁・企業などが、6月1日と10月1日に制服を衣替えするのは明治時代になってからのことです。

知っておきたい、衣替えの正しいルール

- 衣替えをするならカラリとした秋晴れの日に。できれば晴天が続いて室内の湿気が低くなっている日が最適。
- 洗濯やクリーニングは事前に済ませておくのが鉄則。特に夏ものの衣類は汗によるシミが出来やすいので、収納前に念入りなお洗濯を！繊維に染み込んだ汗や汚れは、つけ置き洗いをするのがおすすめ。
- クリーニングに出した衣類等はビニールをはずし、虫干しをして湿気を取り除いてから収納を。
- 防虫剤の成分は空気より重いので、衣類の上に適量を置くようにする。違う成分の防虫剤を一緒に使うと衣類を変色させる原因にもなるので要注意。

衣替えの“憂鬱”を解消する5つのコツ

コツ1 不要な服をまず処分

衣替えは、不要な服を整理する絶好のチャンス。過去3年着ていない、流行遅れ、サイズが合わない、明らかな素材の劣化がある、などの衣類は。思い切って処分してしまいましょう。まず最初に片づける服の絶対量を減らすことで、収納スペースも増え、衣替えがぐっとラクになります。自分は着ないけれどまだ着られる服はリサイクルショップやフリーマーケットなどを利用して循環させましょう。

コツ2 季節ごとにチーム分け

季節ごとに服をチーム分けして、引き出しや収納ケースを割り当てておきましょう。そうすれば衣替えの際、チーム分けされたかたまりごとに入れ替えていけばOK。通年で着る服はもっとも出し入れしやすい場所にしまいましょう。また、スペースが十分にあって衣替えの必要がない場合でも、冬服と夏服が混在していると、着たい服をすぐに探し出すことができなくて不便なもの。同じようにチーム分けしておけば、探す時間も手間も負担が軽くて済みます。

コツ3 ケース選びは収納場所を決めてから

チーム分けした衣類をどこに収納するかを決めましょう。クローゼットの空いた隙間に置くのか、重ねて置くのか、高い場所にしまうのか、奥まった場所で保管するのかなど、収納場所によって使用するケースの大きさや形状、素材を変える必要があります。置き場所の寸法を測り、その場所に合った素材や形態のものを選びましょう。

コツ4 ラベルを貼れば一目瞭然

チーム分けして収納しても、どの収納ケースに何を入れたかわからなくなったら、せつかくの衣替えも台無しです。外から見える所に収納アイテム名を書いたラベルを貼って、目当てのものをすぐ取り出せるようにしておきましょう。

コツ5 収納ケース・グッズは目的に合わせて

1年分のアイテムを限られた収納スペースに上手に収めるには収納ケースの選択は重要なポイントです。収納場所に合った収納ケースを選び、相性のいいアイテムを入れましょう。

- ❖ 着る頻度が高いアイテムには、「引き出しケース」
出し入れがしやすいので、着る頻度の高いアイテム向き。
- ❖ 高い位置への収納には、「布製ケース」
出番の少ないもの、季節はずれのものを入れ、天袋や整理ダンスの上など高い位置へ収納するのに適しています。
- ❖ 室内に置くなら、「ストレージボックス(折りたためる収納ボックス)」
収納ケースを置かざるを得ない場合は、フタつきで見栄えのいいストレージボックスを使いましょう。
- ❖ 積み上げ収納には、「プラスチックケース(フタをかぶせるタイプ)」
積み上げ収納向き。使用頻度の低いものをいれましょう。
- ❖ 大きくて重い衣類収納なら、「キャスター付き収納ケース」
- ❖ 小分け収納に便利な、「風呂敷」
収納ケースの中でさらに小分けしたいときに便利。

